

ふるさと

第 13 号



「まほろばの里」 町田市三輪町 (茂木弘さん)

目 次

- 第 6 回お国自慢発表会(三重県) …… (1)
- サミットと伊勢志摩の魅力 …… (5)
- 旅日記：伊勢志摩リジナルツアー …… (8)
- 加賀百万石の伝統文化・加賀料理を … (10)
- 第二の故郷・中国江蘇省無錫市 …… (14)
- <連載>隠岐流人秘帳(その 4) …… (17)
- フォトギャラリー …… (19)

発行：2016年4月29日(第13号)
発行：麻生ふるさと交流会事務局
担当：平塚 征英、横田 彰夫

麻生ふるさと交流会

「麻生ふるさと交流会」ホームページ
<http://web-asao.jp/hp2/asao-furusato/>

2015 年度第6回お国自慢発表会・懇親会

場 所:麻生市民交流館 やまゆり

日 時:平成 28 年 3 月 5 日(土)

15 時 00 分~19 時 00 分

参加人数 40 名、懇親会参加 36 名

第1部 お国自慢発表会 (15:00~17:00) 司会:辻村副会長

(以下、敬称略)

1. 開会の辞

- ・ 松本会長の挨拶:麻生ふるさと交流会は、麻生区地域コミュニティ支援事業の助成を頂き3年目が終りとなります。次年度は交流会運営の継続の為に、会費の件や内容を検討いたします。これから皆様の知恵を拝借したいと考えております。
- ・ 宮本事務局長:今日のイベントの概要の説明



松本会長

2. 三重県のお国自慢:

① イベント内容説明と講師紹介…脇田さん

- ・ 三重県営業本部担当課(三重テラス):古市尚子様
- ・ 伊勢志摩ツアー滞在ホテル・賢島宝生苑:荻野 様



脇田さん



古市さん



荻野さん

② 伊勢志摩サミットと伊勢神宮について…古市尚子さん (詳細はp5~を参照ください)

- ・ 伊勢志摩サミット推進局局長・西城昭二様から交流会宛のメッセージ
 - ・ 伊勢志摩サミット・三重県 PR の説明の機会に感謝します。
 - ・ 伊勢志摩ツアーでは、春の伊勢志摩を満喫されますよう。
- ・ 伊勢志摩サミット…DVDとパワーポイントによる説明
 - ・ 伊勢志摩サミット…サミットとは? 安倍首相あいさつ
 - ・ 伊勢神宮…内宮・外宮、参拝、日本人の旅行の元祖、式年遷宮、おかげ参り
 - ・ 伊勢志摩の見どころ…賢島、夫婦岩、鳥羽水族館、ミキモト真珠島、グルメ



伊勢神宮



賢島



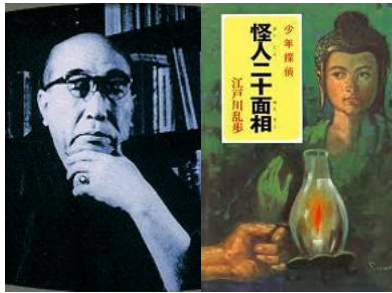
夫婦岩

③ 忍びの里・伊賀の紹介…羽後さん

- ・ 羽後(はのち)です。羽後本線の(うご)ではありません。
- ・ 出身は名張市で、古は隠(なばり)と呼ばれた。山間の底に隠れて目立たない土地の説も。
- ・ 出身有名人…江戸川乱歩、観光地…赤目四十八滝、



羽後さん



江戸川乱歩



赤目四十八滝

- ・ 隣の伊賀市は忍者のふるさと
- ・ 出身有名人…松尾芭蕉、横光利一
- ・ 史跡・名所…伊賀上野城、俳聖堂、鍵屋の辻(荒木又右衛門・36人斬り)
- ・ 伊賀忍者と甲賀忍者、忍者の歴史・役割。忍者体験も出来ます。



伊賀上野城



松尾芭蕉



俳聖堂



鍵屋の辻



忍者体験



名産:組み紐

④ 伊勢志摩ツアー(略称)のお誘い…脇田さん・古市様
(旅日記をp8～に掲載しました)

- ・ サミットを記念した3月末のツアーの説明、今回は10名が参加の予定
- ・ 志摩・伊勢神宮の紹介…荻野様・古市様



⑤ スペシャルプレゼント(4択クイズによる)…脇田さん特製プレゼント

- ・ ハチ公の飼い主上野英三郎博士は三重県津市出身で、農業土木創始者であった。質問は、ハチ公は何犬?と、あと一つ。
- ・ 井手さんと田中(元)さんがプレゼントを獲得。



回答順決めジャンケン



プレゼントをゲットした井手さんと田中(元)さん



3. 事務局から: 今後の予定の連絡(宮本事務局長)

- ・ 今後のふるさと交流会の予定・日程を説明。コミュニティ活動支援事業報告会など。
- ・ 新年度の役員: 新役員には女性の運営委員も増やし、女性の立場からのイベントのアイデアを加味出来るようにしたい。
- ・ 今回新しく麻生ふるさと交流会に参加された方(予定も含む)の紹介: 與那覇さん、村松さん、宮河さん、開原さん、須藤さん。

★ いつものように、会歌「ふるさと」を皆さんで合唱して閉会しました。



第2部 懇親会 (17:10~18:30)

◇ 今回も沢山の方々から、有難い差入れを頂きました。有難う御座いました。

- ・ 日本酒(宗玄、芭蕉)、沖縄の古酒(菊露)・ゆず焼酎(Half Moon)・スペインのワイン(Vina Morena)、キンカンの甘煮チーズ、いぶりがっこ…鈴木・羽後・新井3・吉岡・大出の皆さん
- * 記録漏れがありましたらご容赦のほど。

この他に、日本橋の三重テラスに出掛けて、三重県の名物を購入・運搬して下さいました。本間さん・田中(幹)さん・脇田さん、本当にお疲れ様でした。

- ・伊勢うどん・炭火焼き平飼い鳥・焼きエビ・うまうまさきイカ・焼きイカくん・あおさ海苔
- ・伊勢名産 絲印煎餅・かたやき煎餅
- ・伊勢の梅酒・本醸造宮の雪





乾杯: 脇田さん



発表した羽後・古市・脇田さん



我が女性会員の一部



皆さん料理やお酒に夢中です



音響応援の中込さん(やまゆり)



新会員の宮河さん



新会員の與那覇さん



新会員ではありません

◇ 今回は趣向を変え、三重県のイベントと言う事で、脇田さんのお知り合いの「飯山劇団」の寸劇と歌謡ショーを行った。脇田さんの高校時代からの友人「分部つなき」と、劇団員の「伊勢とも子」さんに、三重県ご当地ソングと出身歌手の歌をご披露して頂きました。



飯山劇団の分部つなき座長



熱心に聴き入る会員



普通になっている会員



歌姫: 伊勢とも子さん



熱唱する分部さん



デュエット



拍手喝采！



お疲れさま



有難うございました。こちらこそ！



さすがに何も残ってません



閉会挨拶・宮本さん



立つ鳥あとを濁さず

サミットと伊勢志摩の魅力の紹介

情報提供:古市 尚子*

編集:会報係

【伊勢志摩サミット】

☆ サミットとは

- ・ 日・米・英・仏・独・伊・加・露8か国の首脳が参加して開催される首脳会議
- ・ G7/G8 とは首脳会議に参加する7/8ヶ国の総称
- ・ ウクライナ情勢を受けロシアはG8参加停止。2014年以降はG7サミット
- ・ 国際社会が直面する地球規模の課題の意見交換と方針の決定
- ・ 日本は過去に5回議長国を務めた。近年は、北海道洞爺湖サミット(2008.7)と九州・沖縄サミット(2000.7)
- ・ 過去最多の10関係閣僚会合が、全国各地で開催される。
- ・ 首脳会議の他に、配偶者プログラムやジュニアサミットも開催。

九州・沖縄サミット00'7

北海道洞爺湖サミット08'7

伊勢志摩サミット 2016年 5月26日～27日 開催！

関係閣僚会合

4月 30～ 11日	外務大臣会合	広島市
4月 29～ 30日	農林大臣会合	新潟市
4月 29～ 30日	農林漁業大臣会合	高松市
5月 1～ 2日	エネルギー大臣会合	北九州市
5月 14～ 15日	郵政大臣会合	豊前市
5月 15～ 16日	農商工大臣会合	富山市
5月 15～ 17日	科学技術大臣会合	つくば市
5月 20～ 21日	観光大臣・中央銀行総裁会合	仙台市
5月 26～ 27日	伊勢志摩サミット	三重県伊勢市
9月 11～ 12日	防衛大臣会合	堺市
9月 24～ 25日	交通大臣会合	軽井沢町

過去最多、10の
関係閣僚会合を開催

* 三重県営業本部担当課(三重テラス)

◇ 伊勢志摩サミット

- ・ 5月26日～27日に三重県伊勢市賢島にて開催
- ・ 安倍総理は、開催地決定の理由として、「日本の美しい自然、そして豊かな文化、伝統を世界のリーダーたちに肌で感じてもらえる、味わってもらえる場所」と述べた。
- ・ 議題は、世界経済・貿易、政治・外交問題、気候変動・エネルギー、開発、質の高いインフラ投資、保健、女性について議論する。…外務省公式発表
- ・ 三重県の取組み
 - ・ 官民一体の日本型テロ対策の推進
 - ・ 海外・国内への情報発信
 - ・ 平井堅さんが公認サポーター…名張市で育つ。地元への熱い思い→全国的なPR



外国特派員へ



国内プレス



カウントダウン



平井堅さん

- ・ 配偶者プログラム…日本の精神性に触れ、日本のふるさとの情景が感じられる行程
- ・ ジュニアサミット…ナガシマリゾートにて。討議に資する視察、県内分散型体験・交流行事



伊勢神宮



横山展望台



海女さん



ナガシマリゾート

【伊勢志摩の魅力】

◇ 伊勢神宮

- ・ 正式名称は単に「神宮」と呼ぶ。
- ・ 内宮・外宮の他に、別宮・摂社・末社・所管社、合せて125宮がある。
- ・ 参拝は先に外宮を、その後で内宮を参拝。



外宮・火除橋



参道



内宮・宇治橋



外宮・御正殿



内宮・御正殿

- ・ 歴史は、内宮が約2,000年前、外宮が約1,500年前に成立。
- ・ 御祭神：内宮…天照大御神(太陽神。皇室の御祖神で、日本国民の総氏神)
外宮…豊受大御神(神々に食事を捧げる神様で、衣食住や産業の神様)

- 御正殿では日頃の感謝を伝え、個人的な願いは外宮・多賀宮、内宮・荒祭宮で。



多賀宮



内宮・皇大神宮



- おかげ参り…江戸時代に伊勢神宮参拝が大流行…日本人の旅行の元祖
 - 庶民の旅行は厳しく制限されたが、伊勢神宮参拝だけは許された。
 - 無一文でも道中で食事などの無料提供が受けられた。
 - 伊勢神宮の神職が御師(おんし)として活躍。檀家を訪ねてお札や暦を配り、伊勢神宮参拝を勧めた。…日本の旅行会社の元祖



歌川広重・宮川の渡し

- 式年遷宮
 - 20年に1度お宮を建替え、御装束神宝も一新し、神様にお遷り願う我が国で最も重要なお祭りの一つ
 - 690年に第1回が行われ、今回が62回目。実に1300年以上続けられている。
 - 20年に一度…技術伝承のため、耐用年数のため、米の備蓄できる年数など諸説あり



◇ 伊勢志摩の見どころ



おかげ横丁



おはらい町



大王崎灯台



夫婦岩(二見輿玉神社)



鳥羽水族館



ミキモト真珠島



海女小屋



海女さん



◇ グルメ



伊勢うどん



伊勢エビ



あわび



手こね寿司



松坂牛



名物餅⇒ 赤福餅



へんぱ餅



岩戸餅

旅日記：伊勢志摩オリジナルツアー

宮本 直紀

【第一日：2016年3月29日(火)晴】

8時50分迄に新百合ヶ丘駅集合ということだったが、何かの予感があり早めの8時半に到着。

案の状小田急線の下りは不通。それでも9人がそれぞれの方法で無事で新横浜駅に集合し、のぞみ・近鉄特急で賢島に14時22分到着。

大阪から参加の Nさんと合流し、14時30分発のエスパーニャクルーズの遊覧船で英虞湾を遊覧し、下船後は徒歩5分の「志摩マリンランド」から宿泊の宝生苑に予定通り到着し、10人が4部屋に分かれチェックイン。

部屋は眼下に英虞湾を見下ろす絶景。おもてなしのお茶をいただき温泉へ！ 地下1,600mからの天然温泉で、ナトリウムイオンの濃いヌルヌルでツルツル。秘湯巡りでかなりの温泉を経験したが、湯質はトップクラス。温泉と脱衣所が何箇所もあり、鍵の紛失騒ぎで一時は大慌て。結局、鍵は使用していなかった。ポケが足音も無く近寄っていることを自覚。早朝も含め3回入浴。

夕飯は伊勢海老、アワビやお酒など、地産の美味を十分堪能。

【第二日：2016年3月30日（水）晴】

朝食後にはサミット前の視察に、政府高官夫人が訪れたという庭園・展望台を散歩。
賢島から近鉄特急で鳥羽駅へ。待っていた送迎バスで戸田家に着き、荷物を預けて3グループに別れて行動。

- ・鳥羽湾クルージング(イルカ島でショー見学)→鳥羽水族館→二見興玉神社・夫婦岩
- ・ミキモト真珠島→鳥羽水族館→ホテルでのんびり
- ・志摩スペイン村→ホテルでのんびり

そして夕食時には、脇田さんの同級生の方と、若女将から歓迎のご挨拶！

夕飯は伊勢海老・松坂牛など連日のご馳走で満足！！

お土産と着替え等は纏めて宅配便へ(まわりゃんせの活用で無料)

私はお酒は控えめにして、戴いたチケットで食前・食後の二回も岩盤浴をさせて貰いました。なかなか良い気分でした。それぞれホテルの温泉村など、三重県での1日を楽しみました。

【第三日：2016年3月31日（木）晴】

早起きして日の出と朝湯を味わいに温泉村へ。

朝食後は午後に予定がある本間さんの見送りを受けて、9名で送迎バスで伊勢神宮の外宮へ。

バスで移動し、おかげ横丁で名物の「てこね寿司」で腹ごしらえと「赤福」などお土産を買い内宮へ。外宮・内宮とも観光ガイドの懇切丁寧なご案内で、神宮(神宮といえば伊勢神宮のこと)を再度勉強させて頂きました。

特に外宮のガイドの長尾さんからは、後日長文のお礼状と共に、

名残り惜し 一期一会のご案内 ご縁嬉しや 春の大宮

の和歌が届き、再度「お伊勢さん」の旅を思い出し感激しております。

内宮から近鉄「伊勢市駅」までは余裕があると思っていたが、バスが遅れてギリギリ。名古屋駅では、名物の山本家「味噌煮込みうどん」「きしめん」等を味わい帰途へ。21時に無事帰宅。

往復「新幹線のぞみ」「近鉄特急」「高級ホテル」の利用で、年金生活者としては少し贅沢な3日間でしたが、旅先での暖かい「おもてなし」と、今回、詳細な計画・お手配を戴いた脇田さんには、改めて敬意を表すると共に感謝いたします。

そして、残念ながら今回参加が叶わなかった会員の皆様にも、それぞれのふるさとのご案内を頂き、このような企画が実現出来たら良いと思いました。



北陸新幹線で古都・加賀百万石の伝統文化・加賀料理を！

鈴木 毅

北陸新幹線(かがやき)で2時間半、金沢がグーンと近くなりました。
伝統文化・老舗料亭・加賀料理・加賀野菜・海産物・地酒など味わいつくしましょう。

- 1 伝統文化 加賀宝生 加賀獅子舞 加賀鳶
伝統産業 金沢金箔 加賀友禅 九谷焼 大樋焼 加賀象嵌 金沢漆器 加賀水引
郷土玩具 加賀人形 獅子頭 加賀八幡起き上がり 金箔あぶらとり紙ほか



獅子頭



加賀友禅



加賀八幡起き上がり



加賀水引



加賀宝生



加賀鳶



第10代大樋焼窯

2 加賀料亭

- ◇ 金茶楼: 前田藩家老横山男爵の別邸。昭和8年創業
- ◇ 杉の井: 犀川のほとり、明治末期の別宅
- ◇ つば甚: 宝暦2(1752)年創業
- ◇ 大友楼: 天保元(1830)年創業
- ◇ 北間楼: 文久2(1862)年創業。樹齢 200 年の柗木犀あり
- ◇ 魚半: 市内に4店舗あり
- ◇ 石亭: 浅田屋グループ、石川県に十数か所あり
- ◇ 銭屋: 片町にあり。21 世紀美術館、兼六園に近い。

金沢家庭料理。

- ◇ つる幸: 金沢懐石料理
- ◇ 金城楼: 金沢の歴史とともに創業 110 年余り
- ◇ 壽屋: 金沢町屋料理。建物は古い



つば甚



金茶楼

3 加賀料理

- ◇ かぶら寿し、ゴリ料理、治部煮
- ◇ 鯛の唐蒸：鯛に卵の花を詰めて蒸揚げた料理
- ◇ えびす：生姜の入った寒天のだし汁に溶き卵流し固めた料理
- ◇ 鱈の白子、巻ぶり
- ◇ 大根寿司、笹寿司、くるみの佃煮、河豚の卵巣の糠づけ 他



えびす



河豚の卵巣の糠づけ



鯛の唐蒸

4 加賀和菓子老舗

- ◇ 加賀和菓子老舗…森八、福江屋、俵屋、柴舟小出、金沢浦田、室町製菓、中田屋、村上他
- ◇ 和菓子…愛香菓、あんころ餅、福梅最中、鬼ぐるみ佃煮最中、加賀藩の最中、金平糖、くるみ松風、黒羊羹、芝舟、じろ飴。千歳、長生殿、月よみ山路、辻占きんつば、花うさぎ、氷室饅頭、福梅、福德せんべい、わり氷ほか



長生殿（日本三銘菓）



花うさぎ



中田屋きんつば

5 加賀野菜

- ◇ 打木赤皮甘栗かぼちゃ、源助だいこん、五郎島金時、二塚からしな、加賀せり加賀たきゅうり、加賀つるまめ、ヘタ紫なす、加賀れんこん、金沢一本太ねぎ別所たけのこ、金時草、赤ずいき、加賀くわい、金沢春菊

6 海産物

- ◇ 甘えび、加能ガニ、寒ブリ、巻ぶり、からすみ、香箱ガニ(ズワイガニの雌)、メギス、ふくらぎ、舳倉島の岩ガキ。いわし糠づけ、ふぐの粕づけ、舳倉島岩のり、バグロ



香箱ガニ

7 石川の日本酒ランキング

- 1天狗舞(車多酒造)
- 2菊姫(菊姫)
- 3手取川(吉田酒造店)
- 4常きげん(鹿野酒造)
- 5加賀鳶(福光屋)
- 6宗玄(宗玄酒造)
- 7奥能登の白菊(白菊酒造店)
- 8遊穂(御祖酒造)
- 9獅子の里(松浦酒造)
- 10黒帯(福光屋)

8 石川県地酒・酒造(蔵元)

- ◇ 久世酒造店:創業天明6(1786)年。主銘柄…能登路、長生舞
- ◇ 武内酒造店:日本でも有数の小さな蔵元。銘柄…御所泉
- ◇ 中村酒造 :文政年間、江戸後期。銘柄…日栄、石川門、加賀太
- ◇ 福光屋 :寛永2(1625)年創業。銘柄…福正宗、加賀鳶、黒帯、鏡花
- ◇ やちや酒造:天正 11(1583)年前田利家公のお供で尾張より移住、寛永5(1628)年創業。380 余年の歴史。銘柄…加賀鶴
- ◇ 吉田酒造店:明治3年創業。主銘柄…手取川正宗、友白髪
- ◇ 金谷酒造店:霊峰白山の源流。銘柄…高砂、兼六正宗、石川門
- ◇ 菊 姫:加賀の菊姫として太閤記にも千有余、白山比詠神社と縁あり。銘柄…菊姫
- ◇ 小堀酒造店:江戸享保年間 1716 年創業。銘柄…萬歳楽、あらばしり、白山
- ◇ 車多酒造 :文政6(1823)年より天狗舞を造り続ける。他に五凜、天
- ◇ 御祖酒造 :霊峰石動山のふもと。銘柄…遊穂、ほまれ
- ◇ 見砂酒造 :慶応年間創業、昭和 36 年能登の霊峰宝達山の麓に。銘柄…朱鷺の里、粋匠
- ◇ 鳥屋酒造 :大正8(1919)創業、能登の小蔵元。銘柄…池月のみ
- ◇ 布施酒造店:明治9年より 120 年、5年 10 年古酒。銘柄…能登風土の里、天平寺、天
- ◇ 加 越 :霊峰白山の伏流水。銘柄…加賀の月、関白、加賀吟醸
- ◇ 鹿野酒造 :蓮如上人の白水の井戸の湧水。銘柄…常きげん、風神、雷神
- ◇ 西出酒造 :元米穀商、大正2年清酒製造業に転業。銘柄…春心、裕恒
- ◇ 手塚酒造場:大 10(1921)年と新しい。銘柄…御幸誉、菊鶴、E-SPACE
- ◇ 橋本酒造 :銘酒大日盛創業以来 230 余年。銘柄…十代目、大日山、加賀の峰
- ◇ 東酒造 :万延年間創業、古い小蔵元。銘柄…神泉、蛭舞
- ◇ 松浦酒造 :年間総生産石数約 800 石、小蔵元。銘柄…獅子の里、無垢
- ◇ 宮本酒造 :明治9年創業。銘柄…無醸、福井県内唯一の芋焼酎製造所
- ◇ 農口酒造 :約 150 年の歴史蔵元、27 回の金賞。銘柄…農口ほとんど
- ◇ 数馬酒造 :江戸時代は味噌・醤油醸造、能登の杜氏。銘柄…竹葉、奥能登、能登純米
- ◇ 櫻田酒造 :大正5(1915)年創業。銘柄…初桜、大慶、能登美人
- ◇ 清水酒造店:文久2(1862)年創業。創業者も杜氏。銘柄…能登誉、千枚田
- ◇ 宗玄酒造 :明和5(1768)年創業。銘柄…宗玄、見附島、能登乃国
- ◇ 鶴野酒造店:創立 200 有余年、奥能登の地酒。銘柄…谷泉、春蘭の里、直蔵
- ◇ 中島酒造店:奥能登輪島の地で地元の米・水・人で少量生産。銘柄…末廣、伝兵衛、能登国
- ◇ 中野酒造 :元治元年総持寺開祖螢山禅師による霊泉で。銘柄…亀泉、鐘の里、飛泉
- ◇ 日吉酒造店:大正元年創業。輪島朝市通り面す。銘柄…白駒、輪島朝市、ささのつゆ
- ◇ 中納酒造 :嘉永2(1849)年創業。軽い口当たりで女性に人気。銘柄…金紋若緑
- ◇ 白藤酒造店:享保7(1722)年廻船問屋創業、江戸末期酒造業。銘柄…白菊
- ◇ 松波酒造 :元治元年、金七興十郎が創業。銘柄…大江山、つづらの波、金の星



9 金沢の歌謡曲

あゝ金沢城(三橋美智也) あゝ前田利家公(藤間大助) 浅野川慕情(竹下景子)
女の金沢(三島敏夫) 加賀の女(北島三郎) 金沢加賀人形(金沢景子)
金沢情話(三条正人) 金沢の雨(城ノ内早苗) 金沢の雨(川中美幸)
金沢のひと(森雄二) 金沢の夜(都はるみ) 金沢ブルース(加賀ひとみ)
金沢望郷歌(松原健之) 香林坊節(父2) 香林坊ブルース(西田佐知子)
桜橋から(松原健之) 青春の旅(芹洋子) 花紀行(荒井由美)
ビュッフェにて(松任谷由美) 滝の白糸(石川さゆり) 友禅流し(牧村三枝子)

10文学

金沢にて(芥川龍之介) 義血侠血(泉鏡花) 予備兵(泉鏡花) 由縁の女(泉鏡花)
浅の川(五木寛之) 金沢望郷歌・ステッセルのピアノ・朱鷺の墓(五木寛之) 北の海(井上靖)
金沢殺人事件(内田康夫) さすらひ(尾山篤二郎) 名もなき道を(高橋治) 出帆(竹下夢二)
感傷的の事・光を追うて・町の踊り場(徳田秋声) 金沢の思ひ出(中原中也)
火にも水にも(深田久弥) ゼロの焦点(松本清張) 美しい星(三島由紀夫) 雪の喪章(水芦光子)
幼年時代・性に目覚める頃・杏つ子(室生犀星) 青い靴(森山啓) 病む月(唯川恵)
夜明け前に会いたい(唯川恵) 北陸冬景・北陸秋景(与謝野晶子) 金沢(吉田健一)
ボトルネック(米澤穂信) ステッセルのピアノ(五木寛之) 他

11映画・演劇・テレビドラマ

滝の白糸 加賀騒動 杏つ子 トラック野郎度胸一番星 白夜わが愛 恋する女たち
黒い家 大河の一滴 手紙 吉祥天女 しあわせのかおり ゼロの焦点 誘惑
武士の家計簿 利家とまつ〜加賀百万石物語 花嫁のれん 心の糸 まれ 他



雪の石川門



近江町市場



兼六園

北陸新幹線で旅する加賀百万石の歴史・伝統文化。・加賀料理など味わいつくしましたか？
有難うございました。 古都金沢でお待ちしています。

第二の故郷・中國江蘇省無錫市

大井 敏夫

無錫と言う都市名を御存じの方も多いと思いますが、其れは歌の「無錫旅情」に起因すると思われ
ます。私は其の無錫に2001年～2007年の6年間滞在しました。苦勞話も多々有りますが、此の記事
をお読みになる皆様には、興味の無い話になりますので、赴任期間の経験を少々記させて戴きます。

赴任時代の無錫

日本から無錫へ行くには、航空機で上海へ行き其の後列車、或は車で無錫へととなります。

赴任の前、1991年に出張で上海から蘇州へ行きましたが、当時は上海西部の虹橋(ホンチャオ)空
港のみで高速道路も無く、上海から烏魯木齊(ウルムチ)へ造成中の国道315号線を觀乍ら蘇州への
出張でした。当時の315号線は曲がりくねった片側一車線で、造成も多くの労働者が鍬と畚(もっこ)を
使うのみで、重機は見られませんでした。

赴任時には虹橋空港は国内線専用となり、国際線は浦東(プトン)空港で高速道路も開通していま
したが、片側二車線で、数日の内に食卓に上る運命と思われる豚、鶏を上海へ運ぶトラックが多く見ら
れました。其の後、片側四車線になりましたが、其れに伴い家畜の運搬に利用する事は禁じられま
した。

上海は戦前から魔都と言われる大都会でしたが、其れは黄浦川西側のバンド(外灘・ワイタン)と呼
ばれる一部と其の周辺の地域のみで、赴任当時でも虹橋空港を外れると、田園地帯が広がって居り、
其の辺りの河川は田鰻の漁が盛んな所でした。

上海市の外れから広域無錫の入口迄高速道路で103Km有り、高速を降り現地法人を立ち上げた
新区と言う場所迄は、更に20分程掛ります。

無錫は中国では无錫(ピンインではWuxi)と記しますが、広域無錫市は人口500万で中国では中規
模の都市です。都市としての無錫市は人口110万で、旧市内は中央に中山路、其れに直交して人民
路、交点を中心に楕円状に解放路が有り、西側に杭州から北京へ繋がる京杭運河が流れ、喫水の
浅いジャンクが昼夜を問わず行き来しています。中山路を南下し車で20分程行くと太湖に出ます。



京杭運河を行くジャンク



太湖と三山を望む

太湖の畔には鼈頭渚公園(げんとうしょこうえん)と言う観光地が有り、「無錫旅情」の歌詞に有る
「三山」へは遊覧船に乗り20分程で行く事が出来ます。三山には道教寺院が有り観光用の踊りを観

る事が出来ます。赴任当時には野生の猿が居ましたが、2,3年すると姿を消していました。太湖周辺にはテレビドラマ「三国志」の撮影の為に造った三国城があり、これも観光施設になって居りテレビドラマにも良く利用される様で、撮影現場に遭遇する事も時々あります。

赴任した新区は誘致外資企業の設立が盛んな地域で、中国全土から労働者が集まっていた。或る時警察が訪ねて来て、近くで殺人事件があり被害者(女性)は貴方の会社の人物では？と被害者の現場での全身と顔写真を持って来ましたが、日本では考えられない事です。

何処の國、或は時代でも余り変わらない事ですが、大規模な開発地域は、集まる労働者目当ての商売が繁盛し、無錫でも2,3ヶ所に怪しげな灯の店が数十軒ありました。他の都市に較べ無錫は外国人には親切な街で、日本人にとっては住み易い街です。

中国料理は一度に料理する量が決まっている為、基本的には複数の料理を数人で分けて食べますが、一人で駐在する者には困ります。止むを得ず日本料理屋(当時は擬きですが)へ行く事になりますが、赴任当時でも4軒程有り外食は楽でした。地域での集まり或は日本からの御客の接待で週一、二度は中国料理になりますが当然乍ら乾杯になります。

酒に就いて記しますと、日本人は中国料理と言うと紹興酒(シャオシンジュ)と思いますが、紹興酒は江東地域のみで他所では殆ど有りません。全土で飲めるのは白酒です。ビールを除いて酒は白酒(パイジュウ)と黄酒(ホワンジュ)があります。

白酒は蒸留酒で日本の焼酎に当り、強い酒は50~60度有り、気付いた時は腰を取られていると言う事が有ります。黄酒は醸造酒で日本酒に相当し、大体15度程度です。

紹興酒と言う名は言わば灘の酒、或は伏見の酒に当たります。更に「古越龍山」と言う銘柄は、日本酒の「菊正宗」「獺祭」等の個別の銘柄になります。黄酒を求める事が出来るのは長江下流域で淮河より南、福建省の北半分迄程度です(香港はイギリス統治時代があった為に、何処でも飲む事が出来ます)。

酒の前に当然、料理が有りますが、無錫料理は江蘇料理の範疇で、上海料理、蘇州料理と同様、或は其れ以上に甘い料理です。小籠包が有名で市内の王将記(ワンシーチー)と言う店は百年の名店です。

代表的な料理に無錫排骨(ウーシーパイクー)と言う料理が有ります。豚の三枚肉を油で揚げ甘く味付けした物です。

太湖三白も有名です。銀魚(小さく光って見える)は湯(タン:スープの事)に使い香草(シャンツアイ:パクチー)と混ぜ美味ですが、現地の人でも其の香りを嫌う人もいます。太湖白蝦、白魚と併せ太湖三白と言います。

無錫にも家鴨(あひる)料理が有り、北京ダックが皮のみを食べるのに対し、無錫ダックは肉も食べます。晩秋になると有名な上海蟹の季節です。11月の雌はミソが美味ですが、12月に出回る雄は肉が美味です。蘇州と無錫の間に陽澄湖と言う湖があり、此処で上海蟹の養殖が行われています。

長大な黄河と長江の間に、其れ等より1/3~1/4程度の淮河があります。此の淮河は中国を考える上では重要な河川で、淮河を境に北は麦作地帯、南は米作地帯で、古代より北部は何処迄も陸地が続き移動には馬を使い、南は縦横に河川や水路が行き交い舟を使い移動して居り、其の為「南船北馬」と言う言葉が生まれました。

多くの方は中国の言語は標準語と広東語と言う認識と思いますが、実際には多くの方言が有り、無錫の言葉は最も古い方言と言われています。無錫人同士の会話を他地域の人が聞いても殆ど理解する事が出来ません。隣の蘇州市は僅か 40Km 程度しか離れて居りませんが、其れでも違いが有り聞く事は出来ても話す事は出来ないそうです。

蘇州の女性言葉は京の女言葉の様に柔らかく最も女性らしい言葉と言われます。無錫語は古越語の一つと言われて居り、我々が聞くと「其れが言葉？」と言いたくなる程です。古代、無錫(呉國)の南には越が有り、其の都が紹興、越の南が南越(現・福建省南部、広東省)、其の南が越南、現在のベトナムです。

広域無錫市には都市としての無錫市の他、西方に宜興市、西北に常州市、北方の長江南岸に江陰市、東北に錫山市が有りますが、錫山は現在、無錫市の中の錫山区になっています。

旧市内の南部には南禅寺と言う古寺が有り、其の近辺は繁華で服飾・飲食・植木・小間物等の店が並び、隣接する市場には生きた魚や鶏・鼈(すっぽん)等も売られています。

中国人は立ち食い(歩き食い)を当たり前に行います。袋や串(路上での串焼きが盛んです)を平気で捨てるので注意すると、捨てなければ道路掃除の人達の仕事が無くなると言います。尤もと思うのは、中国慣れして来たせいかも知れませんが！

テレビで放映されるので御存知の方も居られると思いますが、交通道德は無いに等しく、歩行者は信号を観ていません。基本的に大きい物が強く、人よりは自転車、自転車よりバイク、バイクより自動車が優先します。時と共に慣れましたが、横断歩道と雖も安心は出来ず、車の合間をぬって横断します。赴任当初はスタッフに手を繋がれて横断した事も有りました。道路の横断にも多少コツが有り、車を横目で認識しつつ然し車を観ずに渡るのです。車を観ると運転手は譲ると思ひ此方の前を横切ります。

或る時、歩行者がバスに飛ばされる現場に遭遇しました。夏、若い女性が日傘をさし、携帯電話を操作し乍ら横断歩道を渡っていたのですが、其処へ路線バスが差し掛かり其の女性を跳ねたのです。当然女性は 2,3m 跳ばされましたが、幸い大きな怪我は無く立ち上がりました。バスから運転手が降りて来たのですが、女性を助けるのでは無く怒鳴り付けていました。多分「何処を観ているのだ」とでも言ったのでしょう。大きい物が優先する一例です。今は可也改善されています。日本でも歩きスマホの危険性が話題になっていますが、危ないですね！

無錫は冬が非常に寒く、夏は暑い場所です。勤務先の工場が山形に有りますが、処の社員が無錫に来ると山形より寒いと言います。無錫には「日溜り」が有りません。暮らして初めて判るのですが、其の寒さは骨身に染みます。逆に夏は猛烈な暑さで、政府の規定では 38 度を超えると休みになる為、38 度を超える発表は殆ど有りません。が、実際には 40 度を超える日も有ります。無錫は内陸(東海岸より約 150Km)に位置し、南に太湖を抱えている為と思われれます。

10 月の第一週位迄は暑く半袖で過ごせますが、其れから急激に寒さが増し青葉から枯葉になります。紅葉の季節が無く、日本人には少々寂しさを感じます。気候的には厳しい無錫ですが、人情が厚く慣れれば住み易い街です。無錫は歴史の古い街で古事も多く残り、機会を戴けましたら、次回は其の歴史に就いて記したいと考えています。

隠岐流人秘帳(その4)～わらべ流人 大塩平八郎の甥～

松本良樹

その罪、三族に及ぶ……。それは封建の世の、常識にさえなっていたのである。

宮脇静麿は叔父の犯した罪の為に7歳の時、隠岐の浦郷に送り込まれた罪のない哀れな流人だ。島の人達はこの幼い囚人が流人船から上がるのを見て、泣かされたものだという。

江戸時代の末期、天保8(1837)年のこと……

前年の日照りのため、関西一帯に基金が起こったのである。人々は飢えて土橋の欄干に、もたれたまま神社仏閣裏庭の片隅にうずくまったままの姿で餓死するものが相次いだ。

こうした惨状を見かねた元大坂町奉行所与力 大塩平八

郎は、町奉行 跡部山城守良弼よしすけに窮民の救済を願い出たのである。しかしそれは軽く一蹴された。そこで大塩は、自分の財産の全てを投げうって金穀に代え、人々に分かち与えたが、勿論そんなことでは、何の足しにもならなかったのである。

かくて同年2月19日、自暴自棄に落込んだ百姓町人の群れが箆旗を押し立て、難波の財産家を次々に襲い、遂には大阪城の食糧倉庫をも狙ったのである。そして、その先頭には大塩平八郎とその子、格之助がいた。

しかし、城代の土井大炊頭利位としつらと町奉行良弼らの兵に、逆に反撃されて壊滅したのである。

だか、このため大阪の町は2日2晩燃え続け、城倉をはじめ実に18,000戸の民家が焼き尽された。志成らずして敗れた平八郎親子は、大阪油掛町の某家に40日ほど隠れていたが、やがてばれて、捕手の群れが押し寄せたのである。二人は家に火を放ち、その火中で自決して果てた。時に平八郎46歳、格之助は27歳であった。

これが世に有名な『大塩の乱』である。当時隠岐にも次のような御触れ書(指名手配)が回されていた。

覚

大阪奉行所より今月十九日市中乱妨に及び候奸賊元大坂町奉行与力、大塩平八郎、同苗格之助、瀬田濟之介、同組同心渡部良左衛門、近藤梶五郎、庄司波左衛門其の他の者共逃去候に付、人相書如左(中略)右の通りの者共、御領内に而見当り次第召捕、又は及仕儀打捨候共に不苦候間早々御領内御吟味有之若疑敷者仮令人違にて不苦候条召捕大阪町奉行所へ差出候様、此段両嶋中可被相触候。 以上

このような騒ぎのとばっちりを受けた宮脇静麿は、幼少であったから当然斬罪になるか、15歳までは親類預けとなり、それ以降に処分されるべきだったのに、どうした訳か静麿(7歳)は隠岐に、その

兄(9歳)は、佐渡ヶ島に流されたのである。

隠岐では浦郷村受けとなり、その庄屋方に養われることになったが、この幼い流人は地元の庄屋にとっても可愛がられ、漢書・習字・そろばんなども教えられ、成長後は、村の門脇タミと結婚し一男一女を残し、後に放免され単身大阪に帰国している。

ついでながら、やはり浦郷村受け流人だった元京都二条城の衛士、小泉栄十郎は浦郷の魚民にどのように話をつけたのか、その流罪中に漁民たちと一緒に海産物を積んで若狭の国に渡ったが、途中時化(しけ)にあい船が遭難してしまった。彼は丸裸になって、帰るに帰れない島人のために、こっそり京都に帰り、その旅費を都合したというエピソードも残っている。

と、ここまでは近藤泰成氏の隠岐流人秘帳よりの転載です。

さて宮脇静麿のことを、もう少し詳しく申し上げますと、大塩平八郎の叔父 大塩権八郎(平八郎より4歳年下)は大阪吹田市にある泉殿(いずどの)神社の宮脇家に養子に入り、宮脇志摩と改名して大塩の乱まで第32代の宮司を務めました。

大阪東町奉行 跡部良弼の不正や人々の苦しみをを見ていて、平八郎も志摩も自分の蔵書を売り払い、その代金を窮民に分け与え、役人や大商人に米蔵を開くように説いたが聞き入れられず、奉行はこの行いを売名行為だと誹り、民衆の苦しみをよそに役人や大商人たちと遊興にふけていた。

宮脇志摩は同士の一人で、大砲の台車に名を刻むほどであったが、密告者のために乱が早まってしまい、長柄の渡し場まで駆けつけたが自宅へ引き返した。翌日、与力2人、同心22人、尼崎藩兵250人余りが宮脇家を取り囲んだ。志摩は自宅にて切腹し、家の者に『只今宮脇志摩は自刃いたしました』と三宝の上に載せた“はらわた”を見せた処、捕える事もなく引き返した。その後、直ちに、はらわたを腹に詰め込み、さらしを巻いて槍を杖に止める妻の理加を突き飛ばし、目は朦朧として『まだ役人はいるのか』と、更に止める義母 直を槍で突き伏せ、大阪市内へと向かったが、庄本村のため池にはまり亡くなった。

宮脇志摩は41歳で亡くなり、死体を塩漬けにされ磔の刑となる。当時の刑罰は当事者だけでなく、



家族にまで及んだ。

長男癸太郎は天草(佐渡?)に、次男慎次郎は吉岐に、特に三男辰三郎(静麿)は、乱当時お腹の中にいて7歳になり隠岐に流された。

当時の決まりでは島流しは15歳まで待つのが通例であったが、余程幕府への衝撃が大きかったのか倍以上早まり、童流人と民衆の涙を誘った。島の庄屋さんがとても親切で、読み書きそろばんを手ほどきし、島の娘と結婚し子供まで儲けた。

大砲3門を担ぎ決起する大塩隊
吹田で留守を守る妻 理加は『三島の三ばばあ』と言

われながらも、筆舌に尽くしがたい状況で当宮と宮脇家を守った。

明治維新と共にその義挙が認められ、流刑地に生存の遺児総てを赦免、出島仰せ付けられたが、隠岐での生活もあり躊躇していたが、家門再興を図るため、後ろ髪を引かれる思いで単身三男辰三郎は吹田へ戻り、宮脇家を相続して第33代宮司 宮脇志津摩と名乗り、宮脇八重と結婚して79歳で亡くなった。

宮脇八重に当時の様子を少しでも書き留めて置けばと、第34代宮司で吹田市の助役だった宮脇芳三は頼んだが、『もう大塩のことは言うな』と口を閉ざしたと言われている。

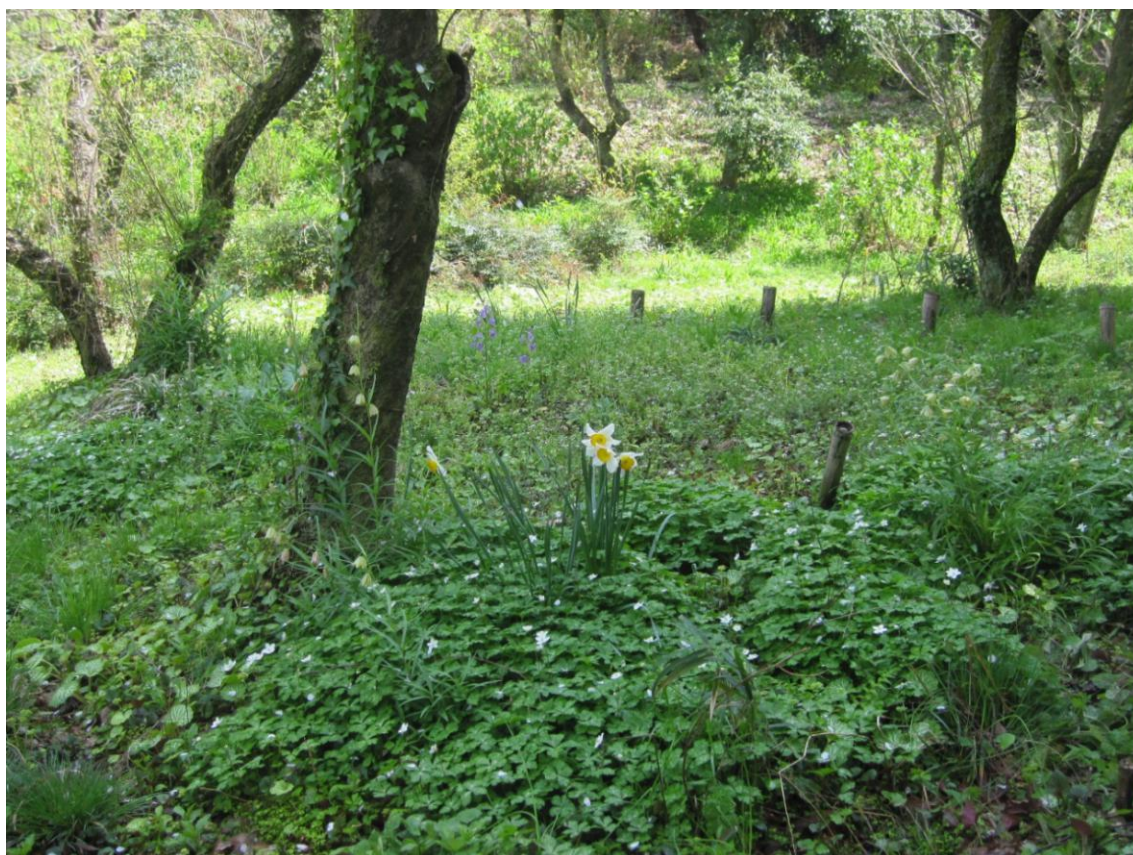
もう一つ、大阪町奉行の跡部良弼は水野忠邦(老中として天保の改革を推進した人)の実弟であり、

旗本跡部家に養子入りしたが、忠邦の威光を背景に傲岸で、周辺と争いを起こすことが少なくなかった。

大塩の乱について責任を問われることはなく、その後は大目付を経て勘定奉行に栄進した。兄の天保の改革が失敗に終わり、兄が失脚した後も政治的命脈を保ち続けた。一説によれば兄が重用した鳥居耀蔵とそりが合わず、常々鳥居と敵対していたために、連座しての失脚を免れたと言われている。幕末の慶応 4(1864)年に若年寄に就任するが、僅か 7 日で免職となり翌明治元年に死去した。享年 70 歳。

つづく

フォトギャラリー



『柿生の里山に群生するニリンソウ』

撮影者:宮河 悦子

2009 年、市民と行政の願いが叶い、『柿生の里特別緑地保全地区』として都市計画決定し、保全されました。「おっ越し山ふれあいの森」から始まり、「柿生の里の散歩道」に連続する多摩丘陵の尾根筋のみどりを保全していること、2010 年 3 月「柿生の里クラブ」が誕生しました。

当地区は閉鎖管理なので、見学・体験・などは活動日にお声を掛けて頂くか、担当窓口へご連絡下さい。

私は会員です。会員随時募集中です。一度みなさんで見学・体験にいらして下さい。

場所…『柿生の里』柿生の里特別緑地保全地区、上麻生7丁目 6 番(浄慶寺の隣接地区です)

定例保全活動日…第1水曜日・第3土曜日 9:30~12:00

担当窓口…石井(080-6767-4123)

* 編集者(注):隣接地域にマンション建設の開発計画があるようで、市民や行政が貴重な自然が残る本地区の緑地保全を強く訴えているようです。(ネットで検索してみてください)